



地域で防災力を高める ～下矢部西部自治振興区で防災訓練～

2月25日、下矢部西部自治振興区で地域防災訓練が実施されました。下矢部西部自治振興区と自主防災会が、地域住民の防災意識を高めることと防災体制等の確認を目的に、熊本県危機管理防災課と山都消防署、役場からの支援を受け、実施されました。当日は実際の避難指示と同様に防災無線にて放送後、指定避難所へ避難を行い、その後、県危機管理防災課の青山参事より、ゲリラ豪雨や近年の災害について講義が行われました。

また、新たに緊急時のヘリコプターの離着陸場所に指定された旧下矢部西部小学校グラウンドに、日本赤十字病院のドクターヘリも飛来し、救急車からヘリコプターで運ばれるまでの一連の流れなどの説明を受け、ふだん見る事ができないドクターヘリを見学しました。

最後に炊き出し訓練では、非常用備蓄食品の白ご飯とカレーを作り、試食が行われました。



ドクターヘリに関する説明



非常食の炊き出し訓練

くまモンとパン作りをやったよ!!

2月23日、馬見原保育園の園児たちが、くまモンと一緒にパン作りに挑戦しました！

パン生地を竹に巻きつけて台の上で上手に生地を伸ばしています。焼きの作業では、生地が焦げないよう、真剣なまなざしでパンを見つめ、コロコロと竹の棒を転がしていました。

くまモンと一緒に踊ったり、歌をプレゼントしたり、パンを焼いたりで大忙しだけ楽しい一日となりました。



(©2010 熊本県くまモン)

中央公民館にIHクッキングヒーター設置!

2月20日、九州電力株式会社熊本東営業所より山都町中央公民館に「IHクッキングヒーター」2台が寄贈されました。

贈呈式では濱本熊本東営業所長から梅田町長へ目録が贈呈され、梅田町長も「地域コミュニティ活動の更なる活性化に繋がると多いに期待しています。」と感謝の意を述べました。

「IHクッキングヒーターは「火を使わない安心」「お掃除が簡単で清潔」「高性能・高火力」など様々な特徴があります。皆さん、どうぞご利用ください。



第6回 テーマ：「海外の家庭料理から、広い世界に触れてみよう！」



2月17日、第6回の山都塾が「海外の家庭料理から、広い世界に触れてみよう！」をテーマに開催され、小学生から大人まで52名が参加しました。講師は、ドイツ出身のALT（小中学校の外国語指導助手）クリスティアン・シュテーター先生で、英語に親しみながらドイツ料理についての講話を聞きました。講話の中ではドイツにちなんだクイズが出題され、参加者はとても楽しそうに答えを出し合っていました。その後、調理室へと会場を移し、クリスティアン先生から母国の家庭料理の作り方を教わり、肉料理のグラシューや、ジャーマンポテト（焼きジャガイモ）、赤キャベツを煮込んだロートコールの3品を手分けして調理しました。スパイスや赤ワインなどを多く使っているため、香りがよく、どれも美味しく仕上がりました。

全員で食べるドイツ料理は格別の美味しさで、おかわりをする参加者もいました。昼食の時間に、アメリカ出身のALT（外国語指導助手）ジョシュア・ロジャソン先生から、母国の食文化などについて様々なお話を聞くことができました。

終了後、今年度の閉講式がおこなわれ、梅田町長より「山都塾で様々なことを学び、将来ますます地域とつながり、地域を担う皆さんに成長してほしい。」と受講生への応援メッセージが送られました。参加者を代表して、矢部高校の田中杏奈さんから「ドイツ料理の作り方を知り、改めて食事について考える機会になりました。とても楽しかったのでまた参加したいです。企画をしていただきありがとうございました。」と感謝の言葉



参加者とクリスティアン先生



ジョシュア先生の話にも興味津々の様子

が述べられました。英語に触れ、海外の料理を通して広い世界の食文化を楽しく味わう一日となりました。



包丁をにぎる表情は真剣そのもの



写真左からジャーマンポテト・グラシュー、ロートコール



閉講式後に全員で記念撮影